



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月2日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6809 URL <https://www.toa-global.com/ja>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 方啓  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,042	10.5	△114	—	169	—	△63	—
2023年3月期第1四半期	9,084	9.8	△302	—	△37	—	267	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,204百万円 (10.5%) 2023年3月期第1四半期 1,090百万円 (△8.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△1.96	—
2023年3月期第1四半期	8.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	63,895	49,178	72.6
2023年3月期	63,905	48,764	72.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 46,404百万円 2023年3月期 46,242百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期配当金の内訳 安定配当40円

2024年3月期配当金(予想)につきましては、2023年5月2日に「2023年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当40円に業績を加味して、連結配当性向45%を目安に決定いたします。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	6.4	2,500	45.9	2,600	23.5	1,550	△12.2	48.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	34,136,635株	2023年3月期	34,136,635株
2024年3月期1Q	1,970,724株	2023年3月期	1,970,633株
2024年3月期1Q	32,165,980株	2023年3月期1Q	32,545,988株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。
- ・四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内においては新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上の分類が5類へ移行するなど社会経済活動の正常化が進んでおり、インバウンド需要の回復や設備投資意欲の高まりなど、景気は緩やかに回復傾向にあります。一方で、原材料価格の高止まりや物価の上昇、ウクライナ情勢の長期化をはじめとする地政学的リスクに加え、為替相場の急速な変動や金利の上昇など、世界経済の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループでは企業価値である「Smiles for the Public ―人々が笑顔になれる社会をつくる―」の実現に向け、2030年を見据えた経営ビジョンとして、「Dr. Sound ―社会の音を良くするプロフェッショナル集団―になる」を掲げております。お客さまに選ばれる良い音体験の継続的提供を通じ、社会課題の特定、解決、改善の一連のサイクルをお客さまと共に実現してゆく頼れるパートナーとして、人々の安心・信頼・感動の価値実現を目指しております。

当第1四半期連結累計期間では、国内においてPCに文章を入力するだけで簡単に放送アナウンス音源を作成できる「YUTTE」のβ版サービスの提供を開始いたしました。観光施設や公共交通機関で試験的に導入していただいております。様々な場所や用途に応じて手軽に、かつタイムリーな情報の発信が可能となります。

また、世界5地域でのマーケティング活動の効率化に向け、情報システム基盤の導入・稼働を展開し、それぞれの市場環境に応じてユーザーの満足度をより高いレベルで実現させる取り組みを継続しております。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,042百万円(前年同四半期比+958百万円、10.5%増)となりました。利益については、営業費用は増加しましたが、営業利益は△114百万円(前年同四半期比+188百万円)、経常利益は169百万円(前年同四半期比+207百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は△63百万円(前年同四半期比△330百万円)となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に土地売却益を計上したこともあり減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (日本)

売上高は4,770百万円(前年同四半期比△24百万円、0.5%減)、セグメント利益(営業利益)は493百万円(前年同四半期比+41百万円、9.3%増)となりました。

病院や工場、交通市場、教育市場向けの売上は伸長しましたが、北米の鉄道車両向けの売上が減少し、セグメント全体での売上高は減少しました。

売上高は減少しましたが、営業費用の減少もあり、セグメント利益は増加しました。

#### (アジア・パシフィック)

売上高は2,646百万円(前年同四半期比+538百万円、25.6%増)、セグメント利益(営業利益)は555百万円(前年同四半期比+274百万円、97.9%増)となりました。

インドネシアやマレーシアなどのイスラム圏においては、ラマダン需要の取り込みにより宗教市場向けの販売が伸長しました。また、ベトナムでは大型都市開発プロジェクトへの納入が進んだことなどにより、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

#### (欧州・中東・アフリカ)

売上高は1,473百万円(前年同四半期比+288百万円、24.3%増)、セグメント利益(営業利益)は146百万円(前年同四半期比△17百万円、10.6%減)となりました。

欧州での販売が堅調に推移し、サウジアラビアでは宗教施設向け、南部アフリカでは病院向けの納入が進んだことなどにより、セグメント全体の売上高は増加しました。

売上高は増加しましたが、営業費用の増加により、セグメント利益は減少しました。

#### (アメリカ)

売上高は652百万円(前年同四半期比+120百万円、22.6%増)、セグメント利益(営業利益)は54百万円(前年同四半期比+60百万円)となりました。

アメリカでは官公庁向け、カナダでは病院向けの納入が進んだことなどにより、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(中国・東アジア)

売上高は498百万円(前年同四半期比+35百万円、7.7%増)、セグメント利益(営業利益)は46百万円(前年同四半期比△8百万円、16.1%減)となりました。

香港では市況の回復により販売が堅調に推移し、台湾では半導体を中心とした工場向けの納入が進んだことなどにより、セグメント全体の売上高は増加しました。

売上高は増加しましたが、営業費用の増加により、セグメント利益は減少しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は63,895百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円の減少となりました。資産の部は、棚卸資産や投資有価証券の増加などありましたが、現金及び預金や売上債権の減少などにより減少しました。負債及び純資産の部は、その他有価証券評価差額金の増加などありましたが、配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少や短期借入金の減少などにより減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想につきましては、「2023年3月期決算短信」で公表しております当初予想から変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,938	15,700
受取手形、売掛金及び契約資産	10,223	8,216
商品及び製品	8,423	9,717
仕掛品	827	844
原材料及び貯蔵品	5,542	5,598
その他	979	1,495
貸倒引当金	△81	△78
流動資産合計	42,853	41,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,170	6,093
その他	4,523	4,529
有形固定資産合計	10,693	10,622
無形固定資産		
投資その他の資産	1,859	1,806
投資有価証券	7,256	8,703
その他	1,242	1,266
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,498	9,970
固定資産合計	21,051	22,399
資産合計	63,905	63,895
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,483	3,734
短期借入金	2,706	2,087
未払法人税等	641	192
引当金	359	332
その他	2,604	2,679
流動負債合計	9,796	9,026
固定負債		
退職給付に係る負債	2,924	2,986
その他	2,419	2,704
固定負債合計	5,343	5,690
負債合計	15,140	14,717
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	5,045	5,045
利益剰余金	32,152	31,445
自己株式	△1,373	△1,373
株主資本合計	41,103	40,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,444	5,173
為替換算調整勘定	865	1,003
退職給付に係る調整累計額	△171	△169
その他の包括利益累計額合計	5,138	6,006
非支配株主持分	2,522	2,773
純資産合計	48,764	49,178
負債純資産合計	63,905	63,895

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	9,084	10,042
売上原価	5,573	5,973
売上総利益	3,510	4,069
販売費及び一般管理費	3,812	4,183
営業損失(△)	△302	△114
営業外収益		
受取利息	2	13
受取配当金	57	63
為替差益	164	201
持分法による投資利益	—	1
その他	54	34
営業外収益合計	278	313
営業外費用		
支払利息	10	22
持分法による投資損失	0	—
その他	2	5
営業外費用合計	13	28
経常利益又は経常損失(△)	△37	169
特別利益		
土地売却益	522	—
特別利益合計	522	—
税金等調整前四半期純利益	485	169
法人税等	131	145
四半期純利益	353	23
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	87
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	267	△63

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	353	23
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△317	729
為替換算調整勘定	1,061	449
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
退職給付に係る調整額	△7	0
その他の包括利益合計	736	1,180
四半期包括利益	1,090	1,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	752	805
非支配株主に係る四半期包括利益	337	399



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## ○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,795	2,108	1,185	532	463	9,084	—	9,084
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,246	34	4	2	7	1,295	△1,295	—
計	6,041	2,143	1,189	534	470	10,379	△1,295	9,084
セグメント利益又は 損失(△)	451	280	163	△5	55	945	△1,248	△302

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,248百万円には、セグメント間取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,269百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,770	2,646	1,473	652	498	10,042	—	10,042
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,361	31	7	6	4	1,411	△1,411	—
計	6,132	2,678	1,481	659	502	11,453	△1,411	10,042
セグメント利益又は 損失(△)	493	555	146	54	46	1,296	△1,410	△114

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,410百万円には、セグメント間取引消去△37百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,373百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。